



テスト管理ツール Quality Forward

for System / Software Testing



加速しよう、未来を。

© 2024 VERISERVE CORP. 会社名・製品名・サービス名は、各社の商標登録です

version 1.0



テスト管理における課題を

“仕方がないこと”だと諦めてはいませんか？

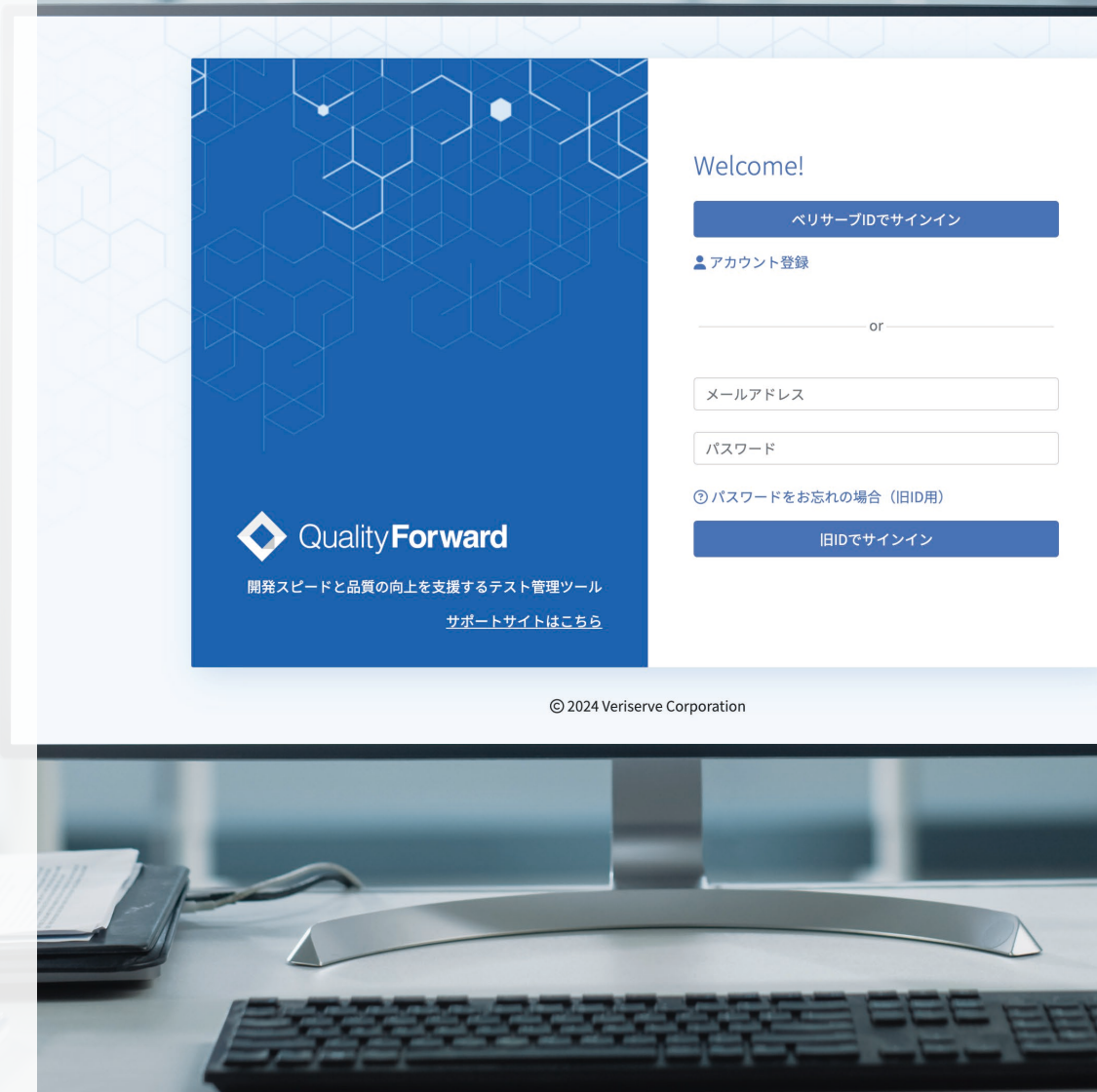


仕様の変更 / 更新 / 修正に合わせて繰り返される
テストプロセスの生産性を高める

テスト管理ツール

- 1 テスト結果の集計作業から解放
- 2 テストの資産化でテストケース作成を効率化
- 3 過去のテスト結果に基づいたテストの最適化

上記3つの特長で、
テスト管理でよくある課題を解決へと導きます。



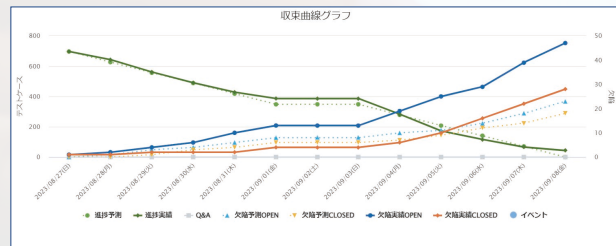
1 テスト結果の集計作業から解放

テスト実行の結果を
リアルタイムに進捗・品質レポートへ反映

→ 管理者の負担になっていた **集計作業が不要** になります。

プロジェクト全体の
状況を把握

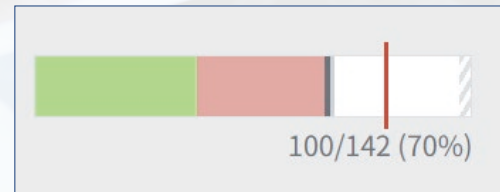
「収束曲線」



テストケース消化の予測と実績、BTS連携による不具合の予測と実績を表示します。

各テストケースごとの
進捗状況を把握

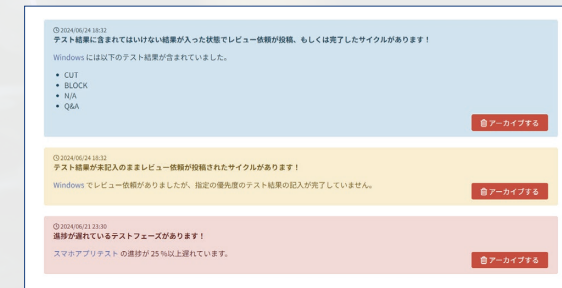
「成分バー」



テスト結果の種類 (Pass、Fail等) の件数表示、当日の計画に対する進捗の実績値、テスト全体に対する進捗度合いが把握できます。

進捗の遅れやテスト
結果入力の不備を検知

「アラートセンター」



進捗の遅れやレビュー依頼時にテスト結果の不備を通知します。テストリーダーやテスト管理者の方に役立つ機能です。

2 テストの資産化でテストケース作成を効率化

テストケースのバージョン管理や
検索機能・タグ付け機能

→ 必要なテストケースがすぐに見つけれ、作業効率が向上します。

The screenshot displays the 'Quality Forward' test case management interface. The main view is 'テストスイート一覧' (Test Suite List). A table lists test suites with columns for 'テストスイート名' (Test Suite Name), 'バージョン名' (Version Name), '管理者' (Manager), and 'テストケース' (Test Cases). The table shows three entries for 'スマホアプリ用テストケース(要求ツリー活用)' (Mobile App Test Cases (Requirement Tree Usage)) with versions 1.0, 1.1, and 1.2. Version 1.2 is highlighted with a lock icon. A detailed view of version 1.1 is shown on the right, displaying '利用可 1.1' (Available 1.1), 'スマホアプリ' (Mobile App), and '直近の実行時間: 約 0.0 時間' (Latest execution time: approx. 0.0 hours). Below this, a 'レビュー待ち 1.0' (Review pending 1.0) section shows tags for '主機能テスト' (Main Function Test), '通信機能テスト' (Communication Function Test), '画面遷移テスト' (Screen Transition Test), and '不正系テスト' (Abuse Test). The interface also includes a sidebar with navigation options like 'ダッシュボード', 'テスト要求ツリー', and 'アラートセンター'.

前のバージョンのコピーから、新しいバージョンのテストケースを作成することができます。

タグ付けによる絞り込みで、使いたいテストケースをすぐに見つかります。

3 過去のテスト結果に基づいたテストの最適化

過去の**テスト結果**や**優先度**による
テストケースの抽出が可能

→ 再テストのための **テストケース作成が効率的** にできます。

多端末動作検証の再テスト

■ ベースとするテストサイクル

多端末動作検証

対象のテスト結果

PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A Q&A

テストフェーズの期間：2024/03/12～2024/04/12

必須 テストサイクル名

多端末動作検証 再テスト

必須 サイクル開始日

2024/04/18

必須 サイクル終了日

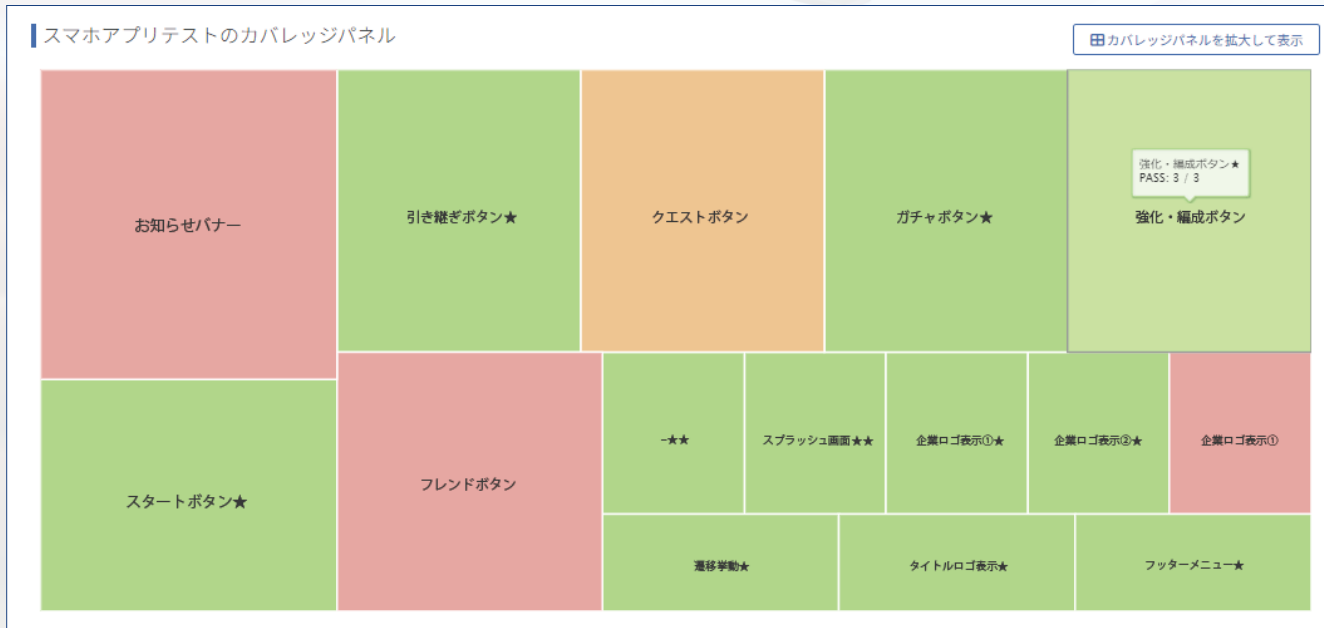
2024/05/02

① 対象期間の営業日は「10日間」です。

3 過去のテスト結果に基づいたテストの最適化

テスト観点ごとの不具合発生状況や、
直近のテスト実行時間が分かる

→ 次回以降のテストに濃淡を付け、より **効果的なテスト実施が可能** に。



「カバレッジパネル」機能 ※当社独自

「テスト観点」ごとのテストケースがどれだけの割合で存在し、それがどれだけ「Pass」しているかを視覚的に把握できます。観点ごとにこれまでのテストの状況が分かるため次回のテストで何を重視すべきかの指標となり、より効果的なテストが可能になります。

利用可 2.0 🔒

主機能テスト 通信機能テスト

画面遷移テスト 不正系テスト

🕒 直近の実行時間：約 4.0 時間

📅 作成日時：2023/09/11 11:01

🔗 設定 📄 コピー 📄 xlsx

直近の実行時間

テストスイートごとに直近の実行時間が分かるため、次回テストを行う際の指標になります。

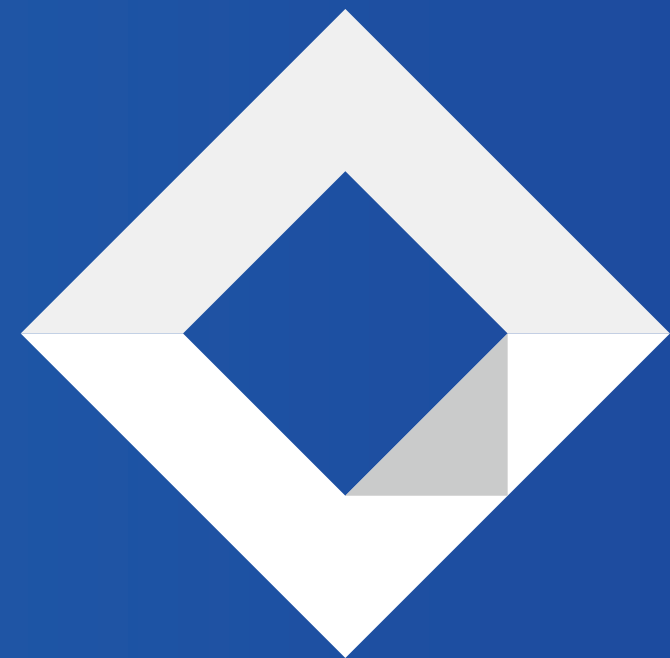
主な導入企業様

テスト管理を必要とされるさまざまなお客様にご活用いただいています。

事業内容	導入の効果
自動車メーカー	テスト結果の集計の手間削減 テスト実行後の品質分析強化
家庭用ゲームメーカー	テスト観点ごとのテスト状況を分析することによる品質向上
車載メーカー	大量のテスト実施状況のリアルタイムでの可視化 多拠点の情報一元化
地図ナビアプリ開発会社	OEM、仕向地ごとのテスト実施状況を集計し一元管理
建設業向けクラウドサービス開発会社	多拠点プロジェクトにおけるテストケース作成から 結果の追跡を効率化
法人向け会計クラウドサービス開発会社	リグレッションテストの準備を効率化 テスト項目内容の精度(カバレッジ)向上

その他 機能紹介

FEATURE INTRODUCTION



どこが変更されたか一目で分かる テストケース変更箇所・削除箇所の色分け表示

追加行数: 1 削除行数: 2 変更行数: 26

前識別ID	現識別ID	優先度	要求ツリー	大項目	中項目	事前条件	テスト手順	期待動
1	1	A	起動確認 - 立ち上げ挙動	起動確認	-	アプリをタスクキルしていること	アプリアイコンをタップする	アプリ
2	2	A	起動確認 - 遷移挙動	起動確認	スプラッシュ画面	アプリを立ち上げていること	立ち上げ後の遷移を確認する	スプラ
		A	起動確認 - 遷移挙動	起動確認	スプラッシュ画面	アプリを起動していること	立ち上げ後の遷移を確認する	スプラ
3	3	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 企業ロゴ表示	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示	スプラッシュ画面に遷移していること	企業ロゴの表示を確認する	企業口
		A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 企業ロゴ表示	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示	企業ロゴ画面に遷移していること	企業ロゴの表示を確認する	企業口
4	4	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 企業ロゴ表示	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示	スプラッシュ画面に遷移していること	企業ロゴの表示を確認する	企業口
		A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 企業ロゴ表示	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示	企業ロゴ画面に遷移していること	企業ロゴの表示を確認する	企業口
5	5	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 遷移挙動	タイトル画面	遷移挙動	スプラッシュ画面に遷移していること	スプラッシュ画面からの遷移挙動を確認する	タイト
		B	起動確認 - スプラッシュ画面 - 企業ロゴ表示	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示	企業ロゴ画面に遷移していること	企業ロゴの表示を確認する	企業口
6	6	A	タイトル画面 - タイトルロゴ - 表示確認	タイトル画面	タイトルロゴ表示	タイトル画面へ遷移していること	タイトルロゴの表示を確認する	資料通
		B	起動確認 - スプラッシュ画面 - 遷移挙動	タイトル画面	遷移挙動	企業ロゴ画面に遷移していること	企業ロゴ画面からの遷移挙動を確認する	タイト
		A	タイトル画面 - スタートボタン - ボタン表示	タイトル画面	スタートボタン	タイトル画面へ遷移していること	スタートボタンの表示を確認する	ボタ

→ テストケースにおける変更箇所が
分かりやすく色分け表示され、レビューの効率が向上します。

テストケースの内容やテスト実行に対する レビューやコメントでテスト業務でのコミュニケーションがより円滑に

テストスイート管理画面

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
	レビュー待ち 1.0 機能A 機能B 機能C Ⓞ 直近の実行時間: 未集計 Ⓛ 作成日時: 2021/07/21 09:49 📄 設定 📄 コピー 📄 xlsx	渡辺正夫	513件 📄 カバレッジパネル 📄 編集 🗨️ コメント 0
Aプロジェクト 📄 設定 📄 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 機能A 機能B 機能C 機能D 機能E Ⓞ 直近の実行時間: 未集計 Ⓛ 作成日時: 2021/07/21 09:50 📄 設定 📄 コピー 📄 xlsx	田中菜々	513件 📄 カバレッジパネル 📄 編集 🗨️ コメント 0

テストサイクル管理画面

テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況
テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目 テスト 📄 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト 📄 2021/06/22 ~ 2021/06/25 📄 3/348 (0%) ▶️ 開く 🗨️ コメント 0	田中菜々	
初回テスト 📄 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト 📄 2021/06/06 ~ 2021/06/11 📄 275/302 (91%) ▶️ 開く 🗨️ コメント 3	田中菜々	

コメント投稿・履歴確認画面

レビューが完了しました 🕒 2024/03/27 12:21 👤 渡辺正夫 修正を確認できましたので、レビューを完了とします。 よろしくお願ひします。
レビュー依頼が行われました 🕒 2024/03/27 12:19 👤 田中菜々 ご確認ありがとうございます。 該当箇所を修正しましたので、再度レビューの依頼をさせていただきます。
レビューが差し戻されました 🕒 2024/03/27 12:09 👤 渡辺正夫 項目No.3とNo.4の期待結果の内容に誤字がありますので、修正お願ひします。
レビュー依頼が行われました 🕒 2024/03/27 11:12 👤 田中菜々 テストケースが作成できましたので、レビューお願ひします。

➡️ テストスイート、テストサイクルごとにコメントすることが可能なため、
テスト業務のやり取りがQualityForward上で行えます。

複数環境のテスト結果を
1つのテストケースに登録!

※最大5つまでの環境を登録可能

期待値	備考	AOS			iOS		
		テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果
アプリが立ち上がり、企業ロゴが表示されること		渡辺正夫	2024/04/03	PASS	渡辺正夫	2024/04/03	FAIL
タイトル画面が表示されること		渡辺正夫	2024/04/03	PASS	渡辺正夫	2024/04/03	PASS
タイトルロゴが表示されていること		田北良純	2024/04/03	FAIL	田北良純	2024/04/03	FAIL

Androidのテスト結果入力

iOSのテスト結果入力

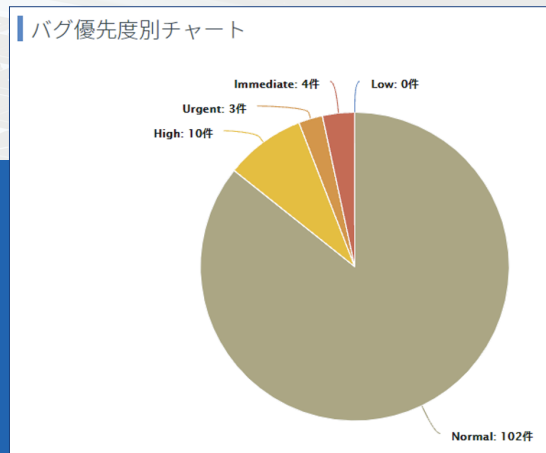
➔ iOSとAndroidなどの複数OSのテストやChrome／Edgeなどのブラウザの違いなどの可用性や移植性、拡張性を確認するテストで活用できます。

BTS(バグ・トラッキング・システム)※と連携し、 開発サイドと不具合状況を連携・把握しながらテスト実行

※Jira・Redmine対応

最新のインシデント	
[2049] 【CSPLGテスト】 会員登録ページ上のプレミアム会員の誤字	Normal / Success QF / 2024年03月04日 16時58分
[2048] 【CSPLGテスト】 ログイン後にログアウトボタンが表示されない	Normal / arisa yamamoto / 2024年03月04日 16時57分
[2047] 宿泊予約時の金額と予約確認画面で違う金額が表示されている	Normal / Success QF / 2024年03月04日 16時56分
[2046] 【CSPLGテスト】 ログイン画面の「ログイン」が「ログイ」と表示されている	Normal / Success QF / 2024年03月04日 16時56分
[2045] 【CSPLGテスト】 スクロールを連続で行うとスクロールバーの表示が見切れてしまう	Normal / Success QF / 2024年03月04日 14時42分

最新の不具合情報連携



不具合状況のグラフ化

	期待動作	テスト実施者	テスト実施日
機能D	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	岩瀬	2021/03/29
機能C	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	配置 BTSに起票	
機能E	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること		
機能D	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること		
機能E	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること		
機能B	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Bが実行可能であること		
機能D	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること		

不具合起票連携(紹介リンク)

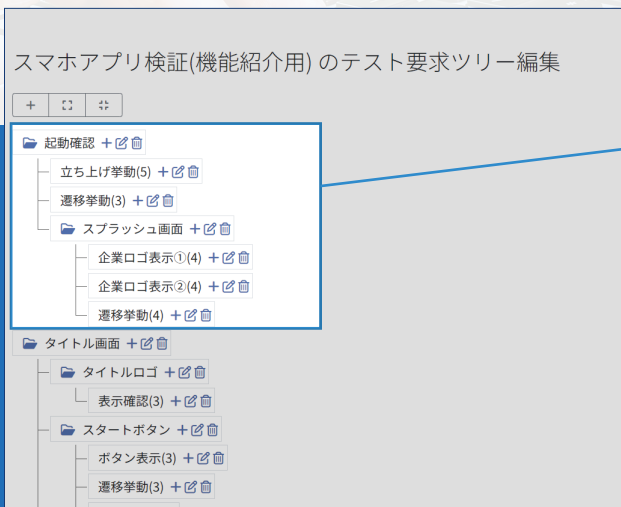
→ テスト中に参考にすべき不具合の最新情報が
QualityForward上で確認できるようになります。

テスト実行の妨げとなっている 外的要因(テストブロッカー)上位10件を集計表示 テストブロッカーの影響範囲を把握し、対応優先度付けが可能に

テストブロッカーの上位10件		期待動作	テスト結果	備考
BLOCK	発生件数	それぞれの画面へ遷移可能であること Cが実行可能であること	BLOCK	不具合No.10の影響により検証不可
不具合No.10の影響により検証不可	6	それぞれの画面へ遷移可能であること Aが実行可能であること	BLOCK	不具合No.10の影響により検証不可
不具合No.15の影響により検証不可	6	それぞれの画面へ遷移可能であること Dが実行可能であること	BLOCK	不具合No.10の影響により検証不可
不具合No.3の影響により検証不可	5	それぞれの画面へ遷移可能であること	BLOCK	不具合No.10の影響により検証不可
不具合No.4の影響により検証不可	4	それぞれの画面へ遷移可能であること	BLOCK	不具合No.10の影響により検証不可
機材調達中	4			
不具合No.20の影響により検証不可	3			
不具合No.9の影響により検証不可	2			

→ 例えば、機材の調達が遅れ、仕様について開発チームに確認中など、テスト実行を妨げている主要因を把握し、対策が取りやすくなります。

プロジェクトでどんなテストを実施すべきかを
ツリー構造で作成しテストケースにひも付け
テスト観点に対するテストケースの抜け漏れを可視化



	優先度	要求ツリー	大項目	中項目	
1	A	起動確認 - 立ち上げ挙動	起動確認	-	アプリ
2	A	起動確認 - 遷移挙動	起動確認	スプラッシュ画面	アプリ
3	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 遷移挙動	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示①	スプラッシュ画面
4	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 遷移挙動	スプラッシュ画面	企業ロゴ表示②	スプラッシュ画面
5	A	起動確認 - スプラッシュ画面 - 遷移挙動	タイトル画面	遷移挙動	スプラッシュ画面
6	A	タイトル画面 - タイトルロゴ - 表示確認	タイトル画面	タイトルロゴ表示	タイトル画面
7	A	タイトル画面 - スタートボタン - 遷移挙動	タイトル画面	スタートボタン	タイトル画面

→ ひも付けたテストケースは要求ツリー上で何件あるのかが分かり
テスト観点の抜け漏れが分かりやすくなります。

プロジェクトの概要やルールを 事前に登録 / チーム全体で共有

QAチームのページ(基本的なチームルール運用例)

1. ホーム

QAチームは、QualityForwardの製品が最高の品質を持つことを確保するためのチームです。
製品のテスト、バグの追跡、品質の改善提案などを行っています。
★報告、連絡、相談は徹底しましょう。

2. 運用ルール

2.1 コミュニケーションルール

Slackを主なコミュニケーションツールとして使用しています。
各メンバーは、毎日の進捗を15時、19時で#daily_progressチャンネルに投稿してください。

例：■テストケース進捗
・新カードチェック：進捗67%(本日完了見込み)
・シナリオチェック：本日未着手

2.2 プロジェクト管理方法

Jiraをプロジェクト管理ツールとして使用しています。
新しいタスクは、Jiraのチケットとして作成され、適切なメンバーに割り当てられます。

2.3 コードレビューとテストのプロセス

コードレビューは、GitHubのプルリクエストを通じて行われます。
各プルリクエストは、少なくとも2人のメンバーによってレビューする必要があります。

テストデータ格納ページ(テストデータ管理例)

管理者ログインテスト用

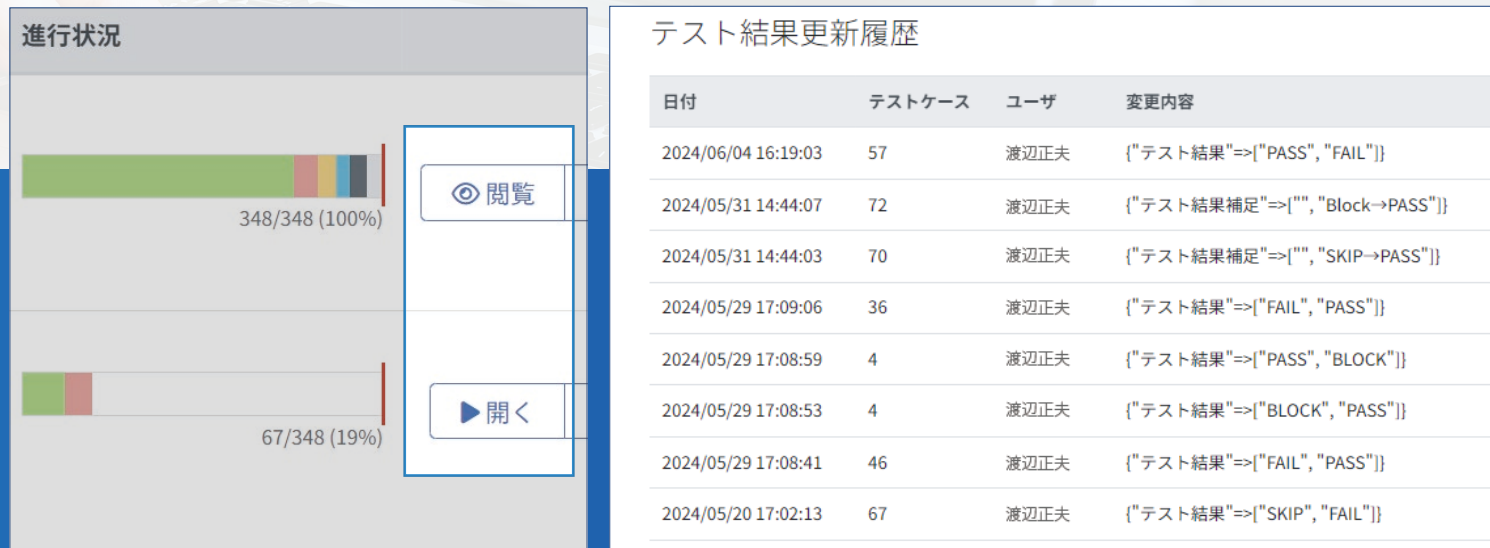
概要	試用用途	データ
Aシステムログイン用アドレス	Aシステムの管理者ログインで使用	QFtest1111@veriserve.co.jp
Aシステムログイン用Pass	Aシステムの管理者ログインで使用	QFdaisuki1234
Bシステムログイン用アドレス	Bシステムの管理者ログインで使用	QFtest2222@veriserve.co.jp
Bシステムログイン用Pass	Bシステムの管理者ログインで使用	QFdaisuki1234
Cシステムログイン用アドレス	Cシステムの管理者ログインで使用	QFtest3333@veriserve.co.jp
Cシステムログイン用Pass	Cシステムの管理者ログインで使用	QFdaisuki1234

一般利用者ログインテスト用

概要	試用用途	データ
Aシステムログイン用アドレス	Aシステムの利用者ログインで使用	QFtest4444@veriserve.co.jp
Aシステムログイン用Pass	Aシステムの利用者ログインで使用	QFdaisuki1234

→ 開発プロジェクト別にメンバー間で共有したい情報を
QualityForward上で一元管理できます。

完了後のテスト結果の変更を不許可とする機能や結果の更新履歴の機能で
高いガバナンスのテスト管理が可能に



➔ レビュー完了後のテスト結果の保全と、テスト結果の更新履歴で
テストの証跡を残し、問題の追跡により解決までをサポート。

テストの再現性を確保するための機能

テスト結果入力を支援する各種機能で
誤入力や表現の揺れ・ばらつきをなくし、テストの再現性を確保

テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID
2024/06/21	PASS		テスト機No.0014、ファームウェア：rev 0.957、オプション：xxモジュール	#12345
2024/06/21	BLOCK	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機材が届かず着手できない状態 致命的な不具合により検証不可</div>	テスト機No.0014、ファームウェア：rev 0.957、オプション：xxモジュール	#1 2345

テスト結果補足機能

テスト結果に合わせた選択肢を設定。
(例) FAIL：不具合のランク(S,A,B,C)入力
BLOCK：要因入力

デフォルト値設定機能

結果入力をする時、あらかじめ設定した文字列を自動で入力。環境設定などの入力の手間の削減と、記載のばらつきをなくすことができます。

検証設定機能

あらかじめ入力ルールを正規表現で設定しておくことで、そのルールから外れた場合に、赤字で表示されるため表記を統一できます。
(例) バグIDの入力やURLの入力など

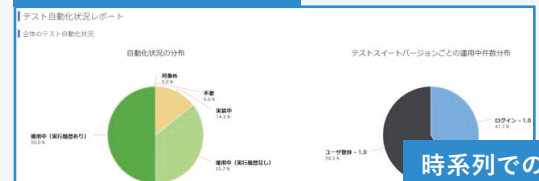
テスト自動化を支える2種類のレポート テスト自動化状況レポート・自動テスト安定性レポート

テスト自動化状況レポート

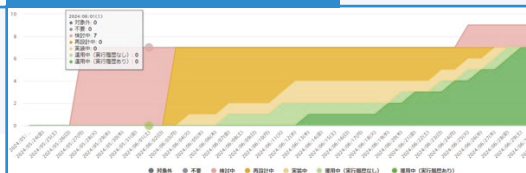
テストケースごとに自動化検討状況を管理し、テスト自動化の進捗状況を可視化します。

優先度	概要	自動化状況	自動テストケースID
1	登録成功 (内部ユーザー・ML配信あり)	運用中	signup_pass_internal_with_ml
2	登録成功 (内部ユーザー・ML配信なし)	検討中	signup_pass_internal_without_ml
3	登録成功 (外部ユーザー・ML配信あり)	再設計中	signup_pass_external_with_ml
4	登録成功 (外部ユーザー・ML配信なし)	実装中	signup_pass_external_without_ml
5	単項目入力チェックエラー	運用中	signup_fail_check_single
6	複数項目入力チェックエラー	対象外	signup_fail_check_multi
7	規約非同意エラー	不要	signup_fail_check_term

自動化状況の件数割合



時系列での自動化状況推移



自動テスト安定性レポート

自動テストシステムで繰り返される結果情報をWebAPI経由でQualityForwardに取り込み、自動テストが安定して運用できているかどうかを可視化します。



自動テスト結果の安定性レポート

自動テストケースID	成功数	失敗数	失敗率	実行時間(msec)			2024-07-05-001						
				平均	最小	最大	2024-07-04-001	2024-07-03-001	2024-07-02-002	2024-07-02-001			
signup_fail_check_multi	3	0	0%	5	5	5	Pass	Pass	Pass				
signup_fail_check_single	3	2	33%	86	5	300	Fail	Pass	Pass	Fail	Error	Error	Error
signup_fail_check_term	5	0	0%	5	5	5	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass
signup_pass_external_with_ml	5	0	0%	5	5	5	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass
signup_pass_external_without_ml	5	0	0%	5	5	5	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass
signup_pass_internal_with_ml	5	0	0%	5	5	5	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass	Pass
signup_pass_internal_without_ml	2	3	50%	5	5	5	Fail	Fail	Fail	Pass	Error	Error	Error

ユーザー毎に所属するプロジェクトや権限を設定
プロジェクトチームの体制に合わせたアクセス制限が可能

新規ユーザの招待

基本設定

必須 メールアドレス

qf.tarou@veriserve.co.jp

テナントの権限

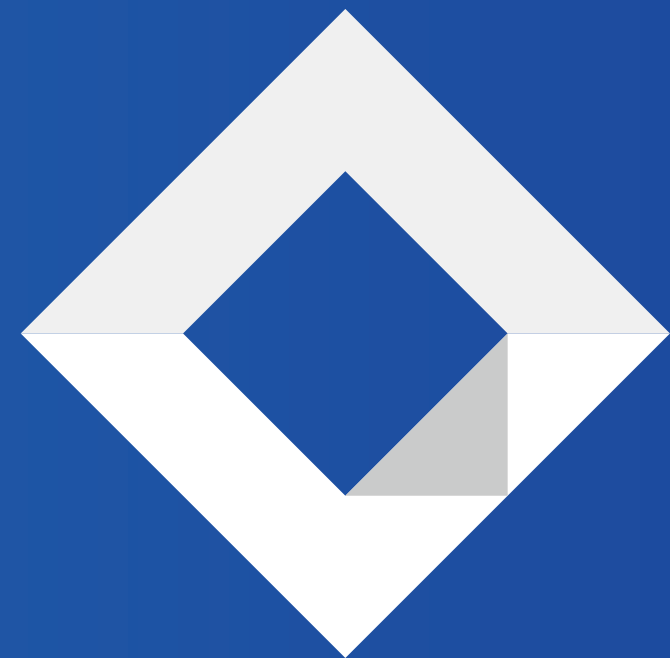
- 一般ユーザ
- 閲覧ユーザ
- 一般ユーザ
- テナント管理者

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 追加	<input type="checkbox"/> 管理者として追加
1.0 既存機能改修プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.0 新規機能開発プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.0 海外向け製品開発プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

→ 所属するプロジェクトごとに
管理者や担当者を割り当てることが可能。

補足資料

SUPPLEMENTARY MATERIAL



テストベンダーならではの

社内の **専門家によるセキュリティテスト** により堅牢性を確保

QualityForward によるセキュリティ対策

OSSパッチ追従

セキュリティパッチがアナウンスされ次第、適宜OSSをアップデートし、既知の脆弱性を突かれるリスクを軽減。

セキュリティテスト

ベリサーブの開発チームとは独立したセキュリティテストチームが適宜、第三者の立場で各種セキュリティテストを実施。

TLS Connection

ユーザーとQualityForward間の全ての通信はTLSによって暗号化。

モニタリングとロギング

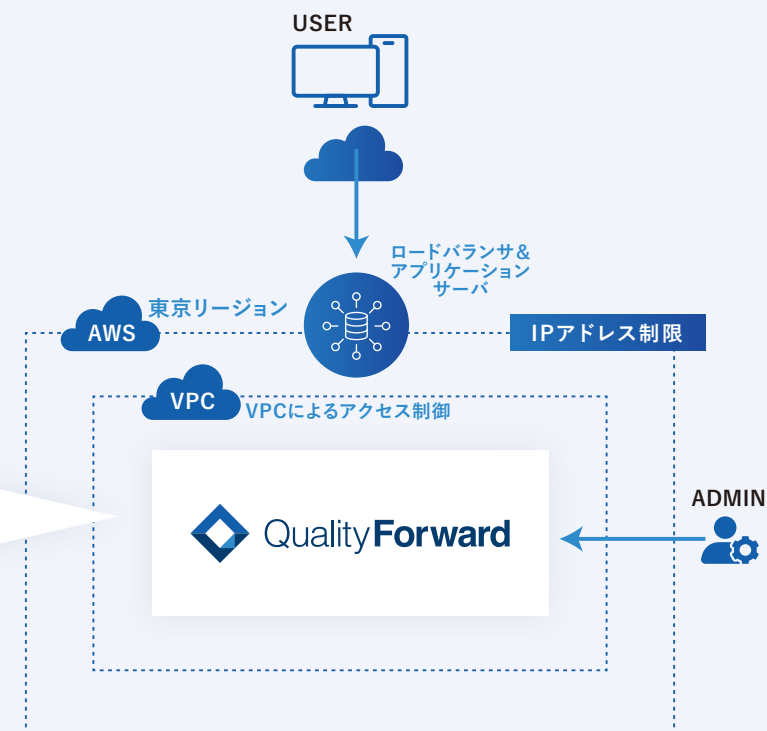
AWS/QualityForward双方の機能として、負荷状況のモニタリングと、アクセスログを取得し追跡性を確保。

FWの最新版維持

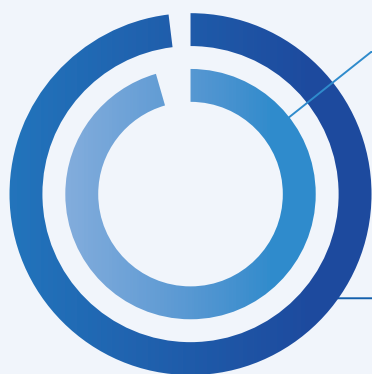
FW (Ruby on Rails) は、最新版を適用。

NWFW

AWSの機能として、VPCのネットワークにはファイアウォールが設置され、開発チームが設定した種類のアクセスのみを許可。(TCP/IP レベル)



テスト・品質ベンダーならではの
高可用性、高品質 を実現



SLA稼働率

年間8時間の
計画外停止

99.9%

稼働実績

年間53分の
計画外停止

99.99%

セキュリティにまつわる
市場不具合



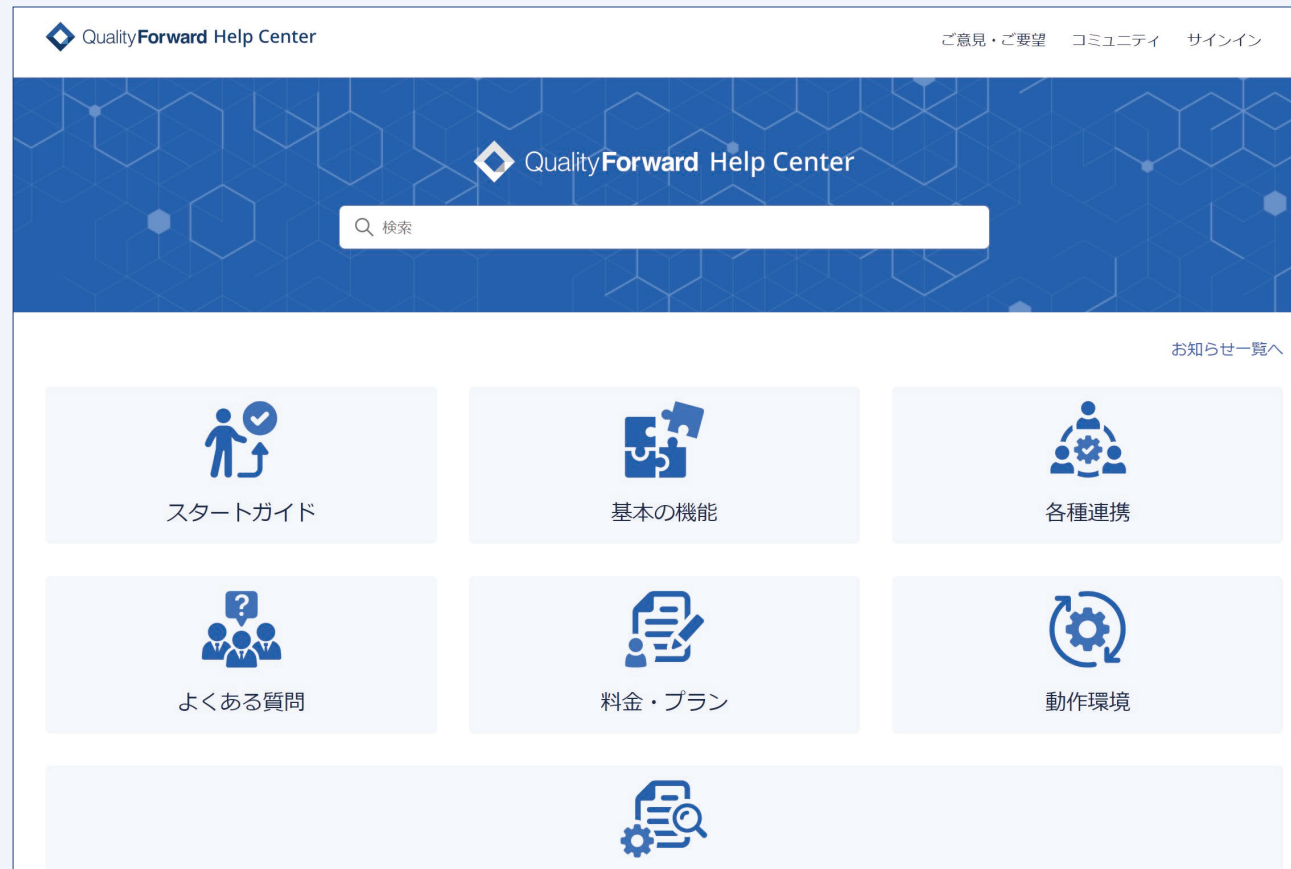
0件

設定可能な
セキュリティ項目

● IPアドレス制限設定 (複数設定可)

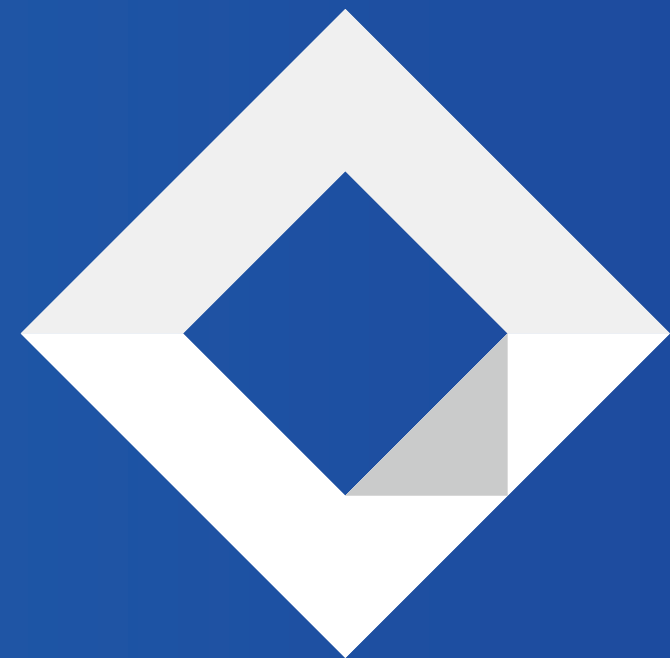
● 2要素認証設定

QualityForward専用のサポートサイトで 使い方の検索やお問い合わせ、ご要望の投稿ができます



料金プラン

ABOUT THE PRICE



料金プラン

	フリープラン	ビジネスプラン	備考
基本利用料(月額) ^{※1}	0円	10,000円	-
利用可能人数	4人	5人	下記閲覧専用ユーザーは含まず
追加ユーザー利用料(月額) ^{※1}	-	1,500円 (6人目以降1人当たり)	※2
最大累積テスト結果数	3,000件まで	制限なし	-
閲覧専用ユーザー	-	100名	※3
WebAPI	-	あり	-
添付ファイル合計容量	5Gb	100Gb	1ファイル50Mbまで
容量追加+500Gbごと(月額)	-	40,000円	-

料金具体例

 × 5人
ユーザー

月額10,000円
(年間:120,000円)

 × 15人
ユーザー

$10,000 + 1,500 \times 10 =$
月額25,000円
(年間:300,000円)

※1 年間契約が前提となります。契約期間分のご利用料金を一括でご請求いたします。

※2 契約期間の途中で追加ユーザーが発生する場合は、追加月から契約終了までの期間分の追加ユーザー利用料を別途ご請求し、次回の契約更新時より追加ユーザーを含んだ利用料でご請求いたします。

※3 テストケースや結果(レポート含む)など、データの閲覧のみ可能です。

STEP
1

アカウント登録



[QualityForward公式ページ](#)からベリ
サーバIDを登録しマイページのご利用状
況から、フリープランをお試しください。

STEP
2

請求先登録



マイページの請求先・管理者情報に必
要事項を入力の上ご登録してください。

STEP
3

お申込み



マイページのご利用状況にある「有料プ
ラン申し込み」に必要事項を入力の上、
お申し込みください。



1983年 ソフトウェア検証サービスを開始
1100社以上の製品・システムの品質向上に貢献

社名	株式会社ベリサーブ
設立	2001年7月24日
資本金	792百万円 (2024年3月末時点)
従業員数	1,915名 (2024年3月末時点 連結)
対象製品	スマートフォン、デジタルカメラなどの身近な製品、 自動車、航空機などの大型プロダクト、 エンタープライズ、WEBサイト、パッケージソフトなど、 さまざまなドメインでの豊富な実績

CONTACT

本件に関するお問い合わせ



QualityForward カスタマーサポート

✉ お問い合わせ

qf_support@veriserve.co.jp

🖥️ 製品HP

<https://www.veriserve.co.jp/helloqualityworld/service/qualityforward/>